

漁業・漁村筆写資料 DB

全国の漁業・漁村に関する資料のデータベースです。

第二次大戦後に漁業制度を改革するにあたり、水産庁は全国の漁村の実態把握調査を 1949 年～1954 年におこない、事業は財団法人となった日本常民文化研究所に委託されました。事業には、網野善彦や宮本常一ら、後に高名な歴史学者あるいは民俗学者となる若者が関わりました。

そこで収集された資料が「漁業制度資料」で、研究員が全国の漁業組合や旧家を訪問し直接資料を収集するという形です。すめられた結果、近世～近代の全国の漁業・漁村の制度に関する筆写資料約 20 万点が収集されました。筆写稿本は複数冊作成されたため、現在、ほぼ同一の筆写稿本が独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所図書資料館にも残されています。